

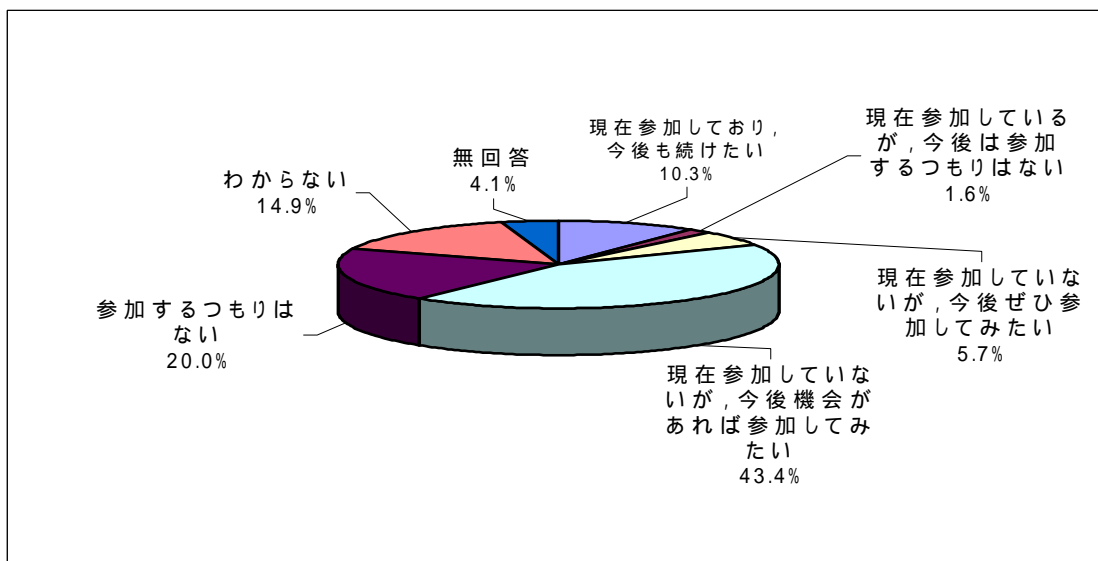
## (1) 第36回 市政に対する世論調査の結果

## 1 地域の福祉活動への参加意向

あなたは、地域の福祉活動に参加してみたいと思いますか。( は1つ)

(単位:人,%)

現在参加しており、今後も続けたい	193	10.3
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	30	1.6
現在参加していないが、今後ぜひ参加してみたい	108	5.7
現在参加していないが、今後機会があれば参加してみたい	816	43.4
参加するつもりはない	376	20.0
わからない	281	14.9
無回答	78	4.1
合計	1,882	100.0



「現在参加していないが、今後機会があれば参加してみたい」と答えた人の割合が最も高く43.4%、次に「参加するつもりはない」が20.0%、「わからない」が14.9%と続いている。

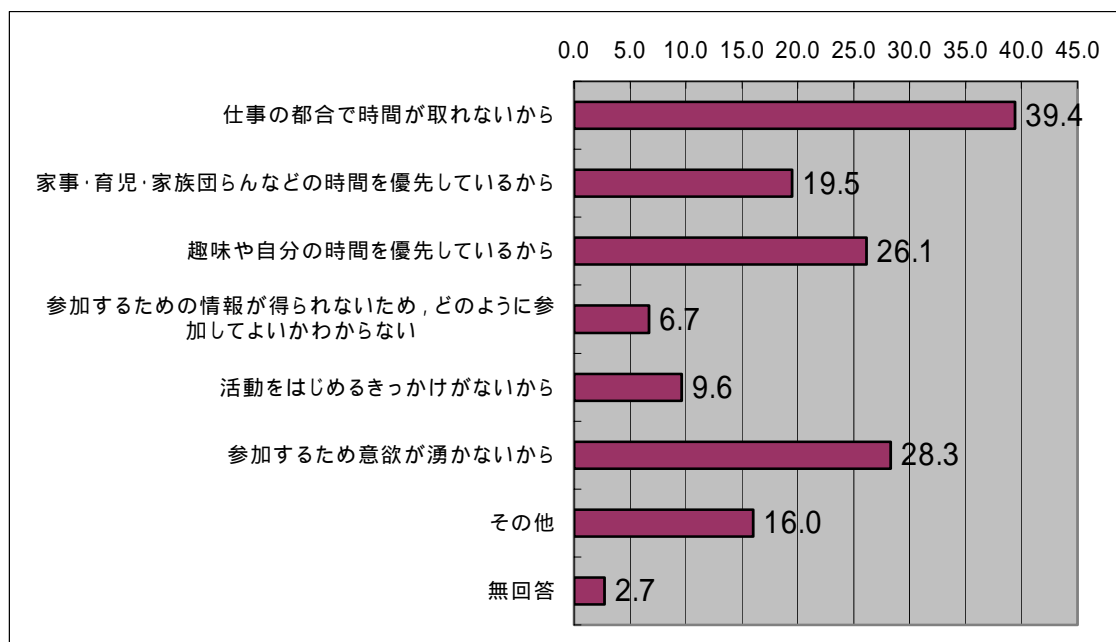
「現在参加していないが、今後機会があれば参加してみたい」43.4%、「現在参加しており、今後も続けたい」10.3%、「現在参加していないが、今後ぜひ参加してみたい」5.7%を合わせて59.4%が参加の意向がある。

## 2 地域の福祉活動への参加しない理由

あなたが参加しない、または参加できない主な理由は何ですか。  
( は2つまで)

(単位:人,%)

仕事の都合で時間が取れないから	160	39.4
家事・育児・家族団らんなどの時間を優先しているから	79	19.5
趣味や自分の時間を優先しているから	106	26.1
参加するための情報が得られないため、どのように参加してよいかわからない	27	6.7
活動をはじめるきっかけがないから	39	9.6
参加するための意欲が湧かないから	115	28.3
その他	65	16.0
無回答	11	2.7
調査数	406	

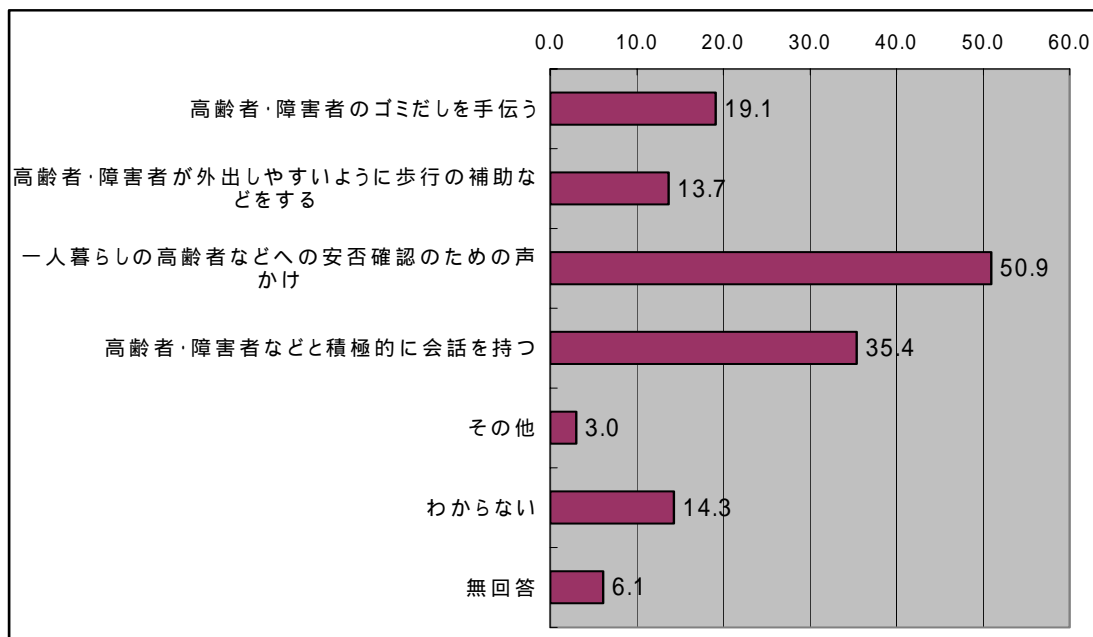


「仕事の都合で時間が取れないから」と答えた人の割合が最も高く39.4%、次に「参加する意欲が湧かないから」が28.3%、「趣味や自分の時間を優先しているから」が26.1%と続いている。

### 3 誰もが参加しやすい身近な福祉の活動

あなたが考える誰もが参加しやすい身近な福祉の活動は、どのようなものですか。( は2つまで) (単位:人,%)

高齢者・障害者のゴミだしを手伝う	359	19.1
高齢者・障害者が外出しやすいように歩行の補助などをする	257	13.7
一人暮らしの高齢者などへの安否確認のための声かけ	957	50.9
高齢者・障害者などと積極的に会話を持つ	666	35.4
その他	57	3.0
わからない	269	14.3
無回答	115	6.1
調査数	1,882	

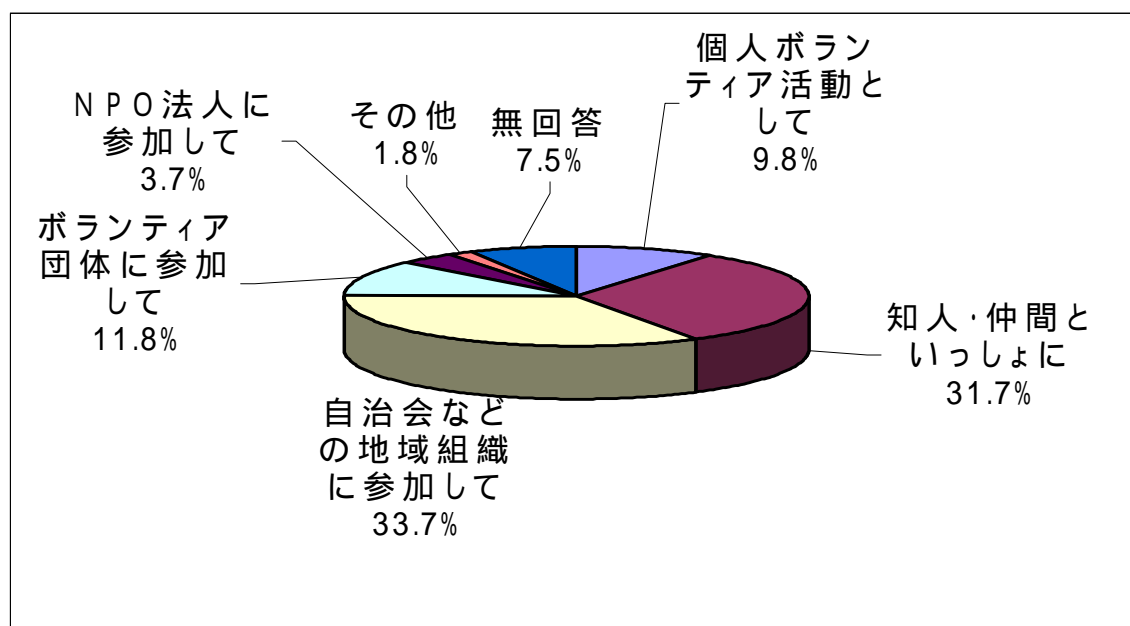


「一人暮らしの高齢者などへの安否確認のための声かけ」が最も高く50.9%と半数を占めており、次に「高齢者・障害者などと積極的に会話を持つ」が35.4%、「高齢者・障害者のゴミだしを手伝う」が19.1%と続いている。

#### 4 身近な福祉活動に参加する場合の形態

あなたが身近な福祉活動に参加するとすれば、どのような形態で参加しますか。( は1つ) (単位:人,%)

個人ボランティア活動として	184	9.8
知人・仲間と一っしょに	596	31.7
自治会などの地域組織に参加して	634	33.7
ボランティア団体に参加して	223	11.8
NPO法人に参加して	70	3.7
その他	33	1.8
無回答	142	7.5
合計	1,882	100.0

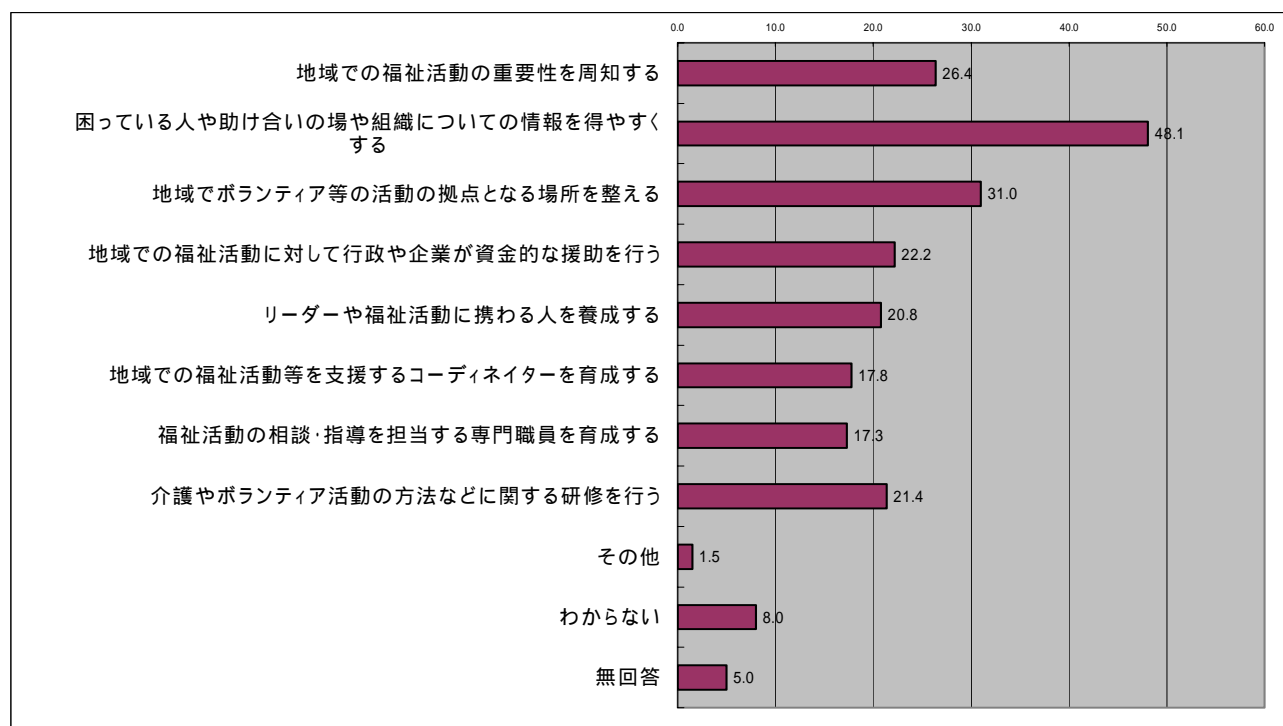


「自治会などの地域組織に参加して」と答えた人の割合が最も高く33.7%、次に「知人・仲間と一っしょに」が31.7%、「ボランティア団体に参加して」11.8%と続いている。

## 5 地域での福祉活動に参加しやすくするために必要なこと

地域での福祉活動に参加しやすくするためには、あなたが必要と考えることは何ですか。( は3つまで) (単位:人,%)

地域での福祉活動の重要性を周知する	497	26.4
困っている人や助け合いの場や組織についての情報を得やすくする	905	48.1
地域でボランティア等の活動の拠点となる場所を整える	583	31.0
地域での福祉活動に対して行政や企業が資金的な援助を行う	418	22.2
リーダーや福祉活動に携わる人を養成する	392	20.8
地域での福祉活動等を支援するコーディネーターを育成する	335	17.8
福祉活動の相談・指導を担当する専門職員を育成する	326	17.3
介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う	403	21.4
その他	28	1.5
わからない	150	8.0
無回答	94	5.0
調査数	1,882	

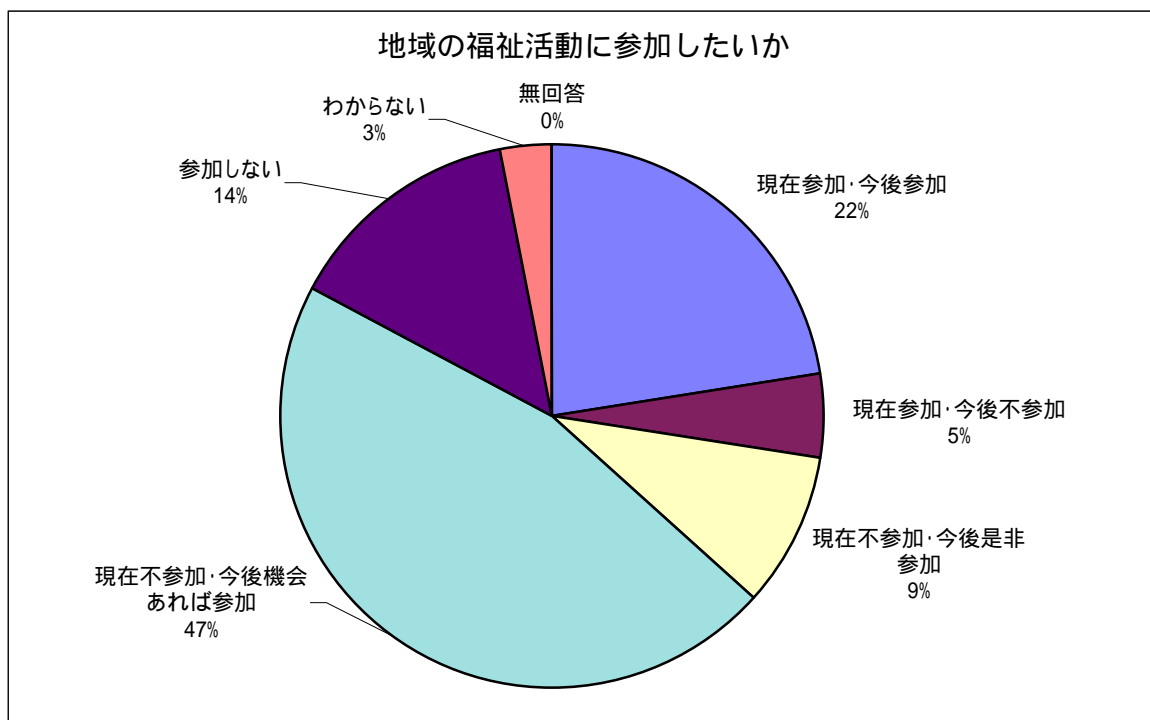


「困っている人や助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が48.1%と約半数を占めており、「地域でボランティア等の活動の拠点となる場所を整える」31.0%、「地域での福祉活動の重要性を周知する」26.4%と続いている。

## (2) 平成15年度 市民アンケートモニターの結果

### 1 地域の福祉活動に参加したいか( 1つ)

選択項目	人数	構成比
現在参加しており、今後も続けたい	22	22.4%
現在参加しているが、今後は参加するつもりはない	5	5.1%
現在参加していないが、今後ぜひ参加してみたい	9	9.2%
現在参加していないが、今後機会があれば参加してみたい	45	45.9%
参加するつもりはない	14	14.3%
わからない	3	3.1%
無回答	0	0.0%
合計	98	100.0%

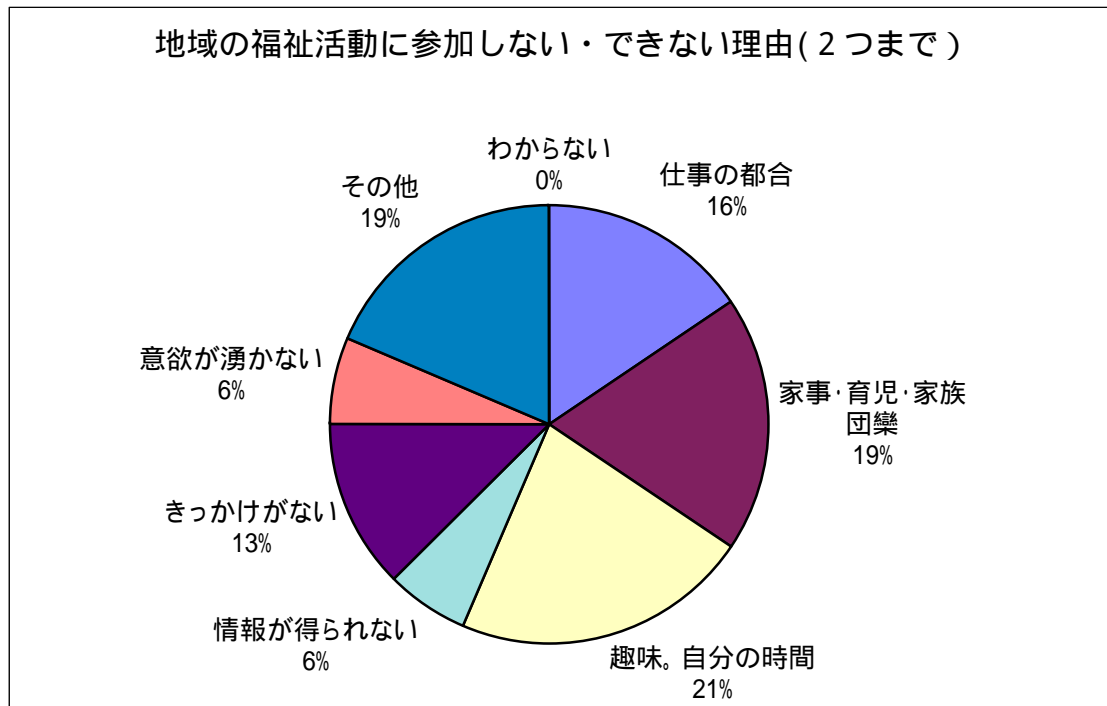


「現在参加していないが、今後機会があれば参加してみたい」と答えた人の割合が最も高く45.9%、次に「現在参加しており、今後も続けたい」が22.4%、「参加するつもりはない」が14.3%と続いている。

「現在参加していないが、今後機会があれば参加してみたい」45.9%、「現在参加しており、今後も続けたい」22.4%、「現在参加していないが、今後ぜひ参加してみたい」9.2%を合わせて77.5%が参加の意向がある。

1 - 1 地域の福祉活動への参加しない理由( は2つまで)

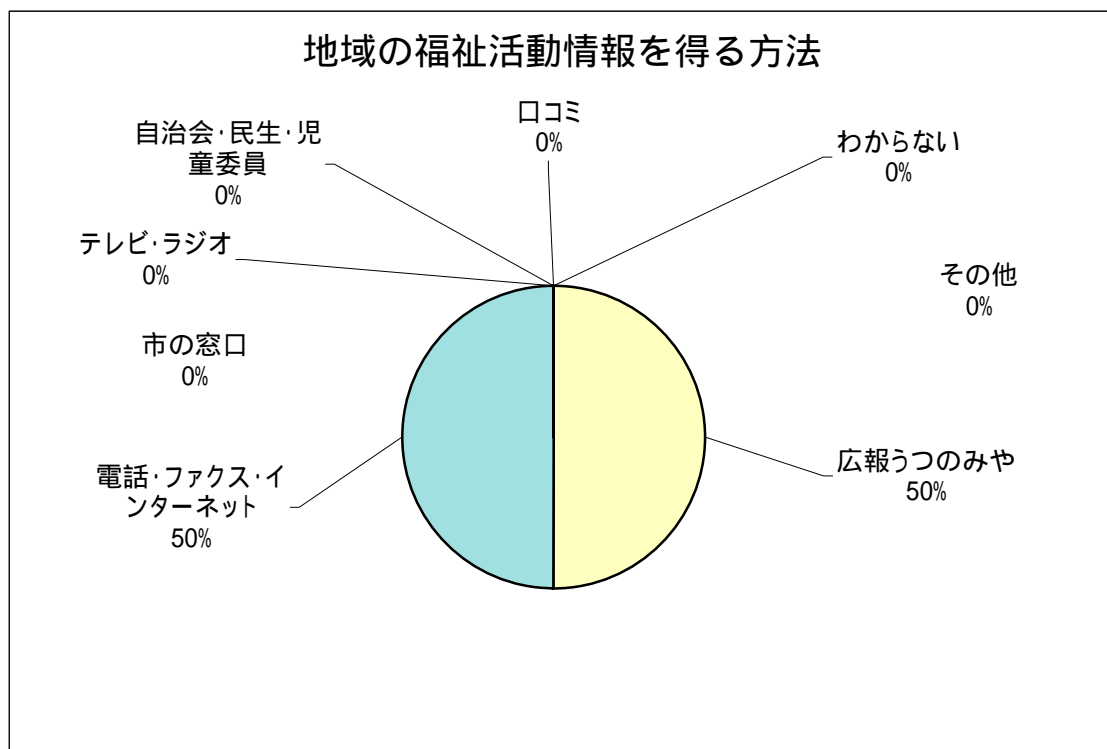
選択項目	人数	構成比
仕事の都合で時間が取れないから	5	15.6%
家事・育児・家族団らんなどの時間を優先しているから	6	18.8%
趣味や自分の時間を優先しているから	7	21.9%
参加するための情報が得られないため、どのように参加してよいかわからないから	2	6.3%
活動をはじめのきっかけがないから	4	12.5%
参加する意欲が湧かないから	2	6.3%
その他	6	18.8%
わからない	0	0.0%
合計	32	100.0%



「趣味や自分の時間を優先しているから」と答えた人の割合が最も高く21.9%、次に「家事・育児・家族団らんなどの時間を優先しているから」が18.8%、「仕事の都合で時間が取れないから」が15.6%と続いている。

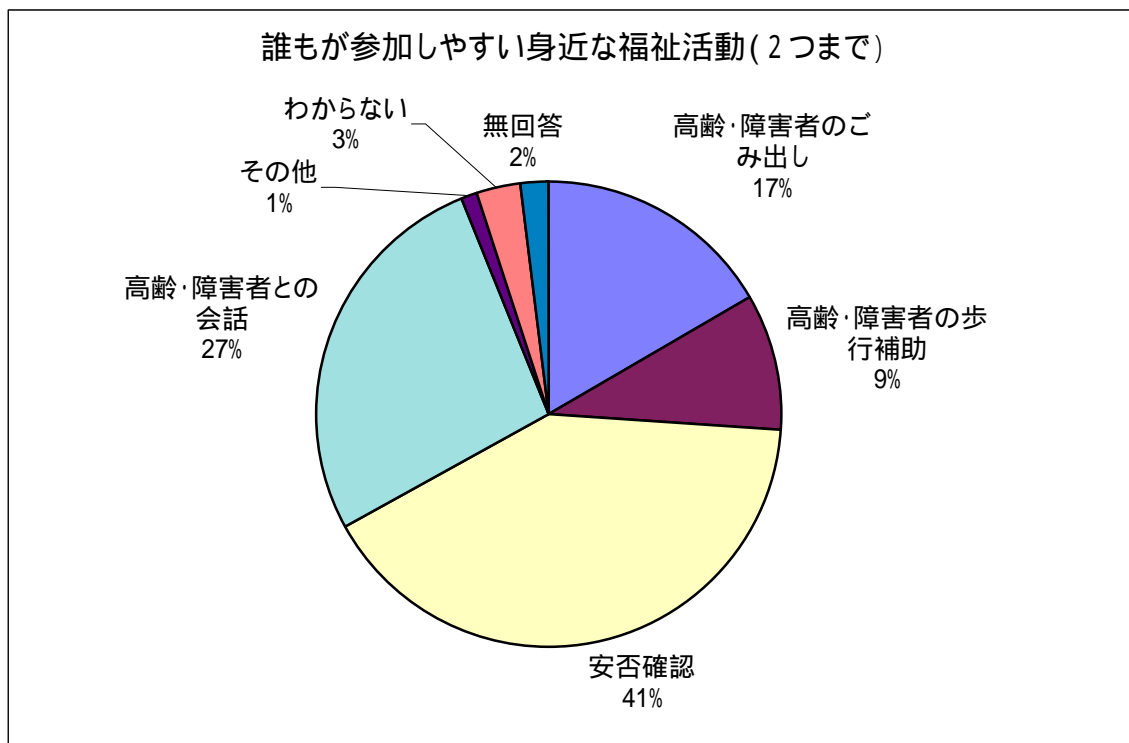
## 2 地域の福祉活動情報を得る方法( は1つ)

選択項目	人数	構成比
市役所の窓口	0	0.0%
テレビ・ラジオ(とちぎテレビ・とちぎ放送)	0	0.0%
広報うつのみや	1	50.0%
電話・ファクシミリ・インターネット	1	50.0%
家族や近所のひとからの口コミ	0	0.0%
自治会や民生委員・児童委員	0	0.0%
その他	0	0.0%
わからない	0	0.0%
合計	2	100.0%



### 3 誰もが参加しやすい身近な福祉の活動( は2つまで)

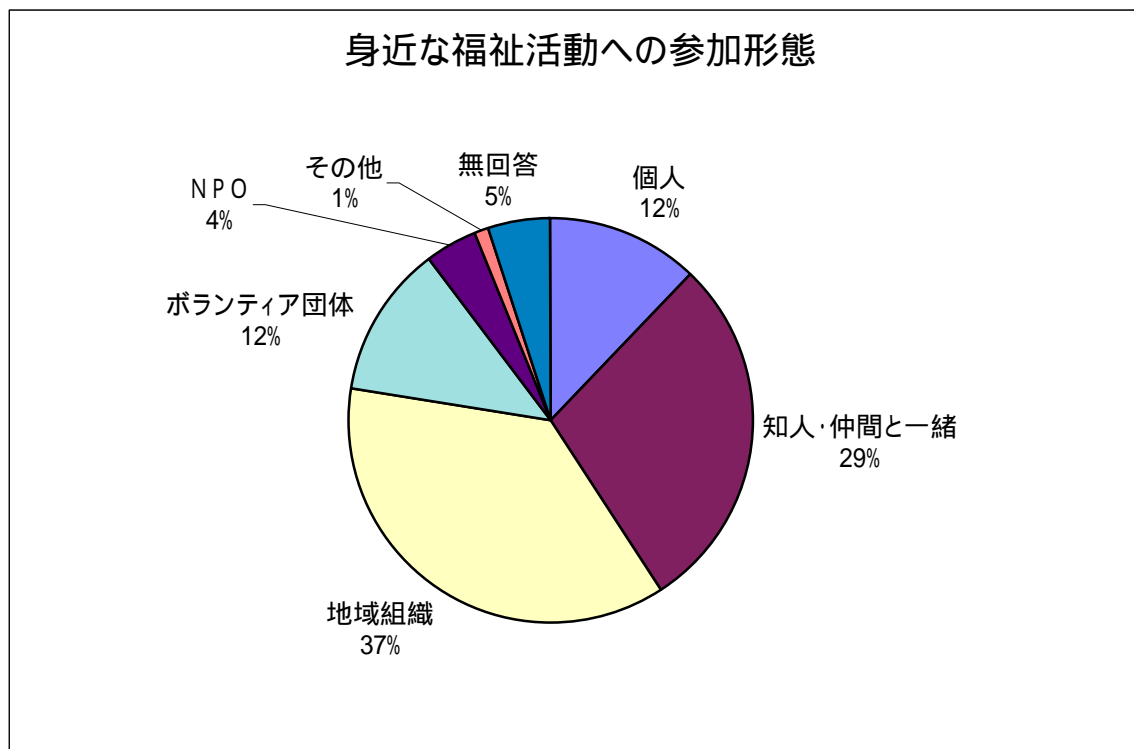
選択項目	人数	構成比
高齢・障害者のゴミのだしを手伝う	27	16.8%
高齢者・障害者が外出しやすいように歩行の補助などをする	15	9.3%
一人暮らしの高齢者などへの安否確認のための声かけ	66	41.0%
高齢者・障害者などと積極的に会話を持つ	43	26.7%
その他	2	1.2%
わからない	5	3.1%
無回答	3	1.9%
計	161	100.0%



「一人暮らしの高齢者などへの安否確認のための声かけ」と答えた人の割合が最も高く41.0%、次に「高齢者・障害者などと積極的に会話を持つ」が26.7%、「高齢者・障害者のゴミだしを手伝う」が16.8%と続いている。

#### 4 身近な福祉活動に参加する場合の形態( は1つ)

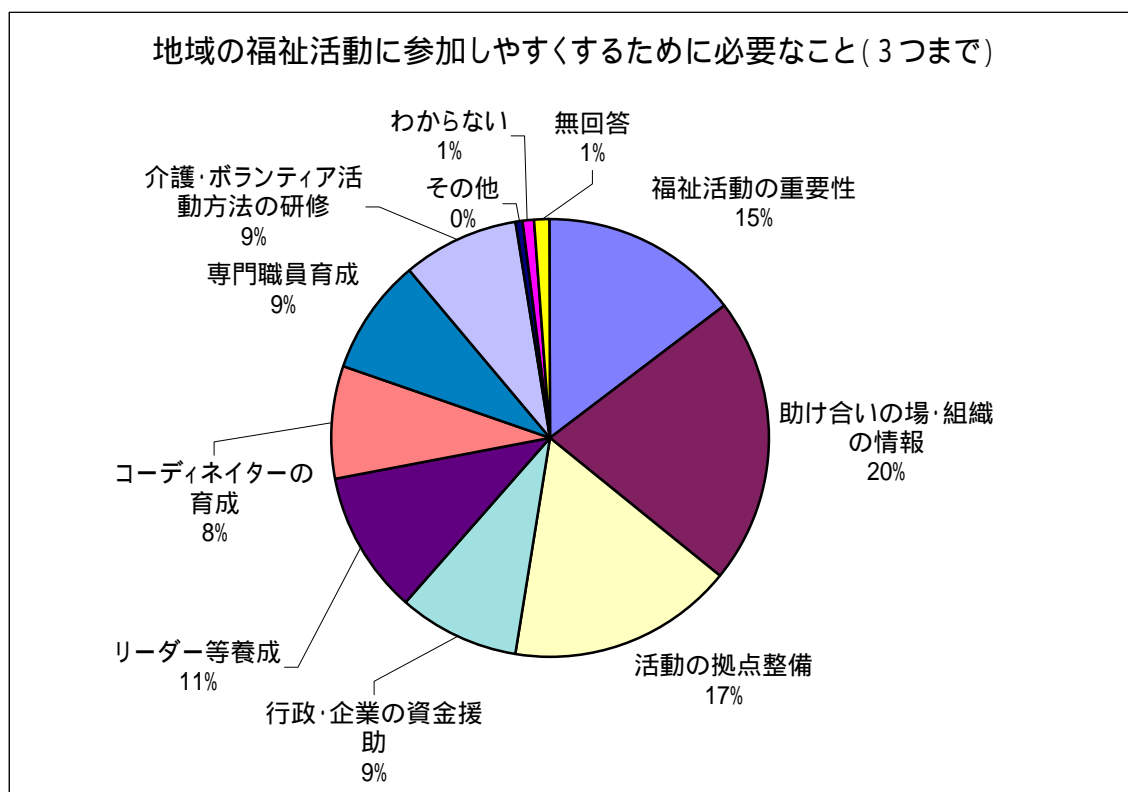
選択項目	人数	構成比
個人ボランティア活動として	12	12.2%
知人・仲間といっしょに	28	28.6%
自治会などの地域組織に参加して	36	36.7%
ボランティア団体に参加して	12	12.2%
NPO法人に参加して	4	4.1%
その他	1	1.0%
無回答	5	5.1%
計	98	100.0%



「自治会などの地域組織に参加して」と答えた人の割合が最も高く36.7%、次に「知人・仲間といっしょに」が28.6%、「ボランティア団体に参加して」が12.2%と続いている。

5 地域の福祉活動に参加しやすくするために必要なこと( は3つまで)

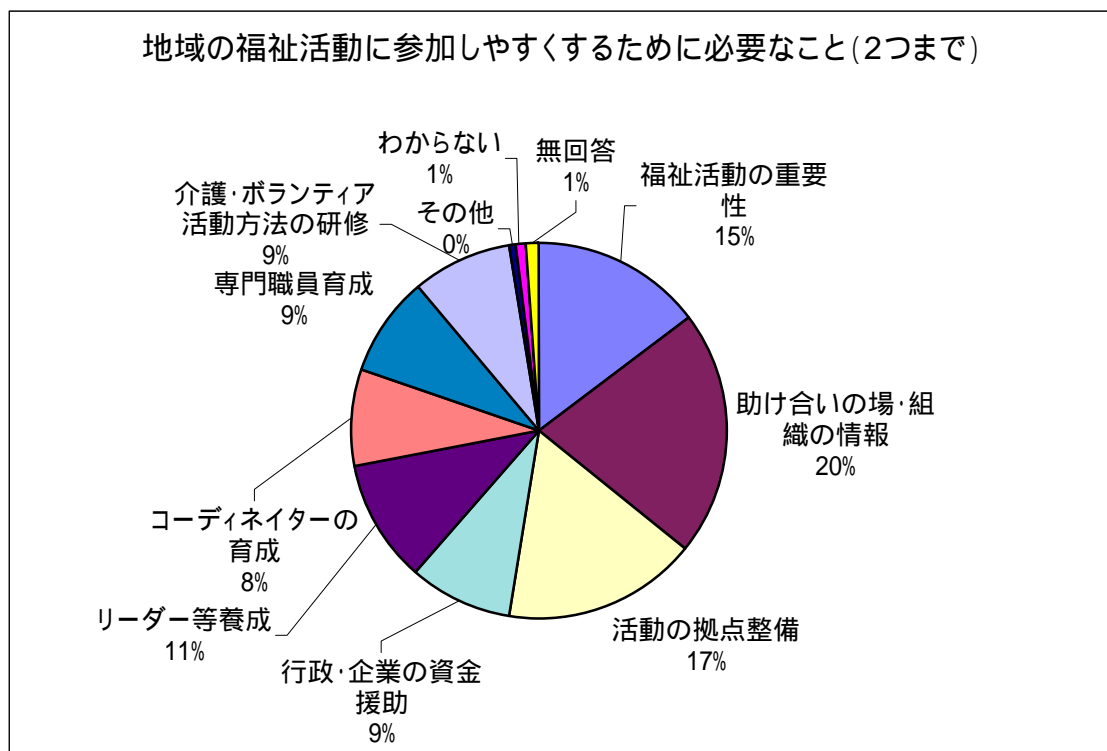
選択項目	人数	構成比
地域での福祉活動の重要性を周知する	37	14.6%
困っている人や助け合いの場や組織についての情報を得やすくする	54	21.3%
地域でのボランティア等の活動の拠点となる場所を整える	42	16.6%
地域での福祉活動に対して行政や企業が資金的な援助を行なう	22	8.7%
リーダーや福祉活動に携わる人を養成する	27	10.7%
地域での福祉活動等を支援するコーディネーターを育成する	21	8.3%
福祉活動の相談・指導を担当する専門職員を育成する	22	8.7%
介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行なう	22	8.7%
その他	1	0.4%
わからない	2	0.8%
無回答	3	1.2%



「困っている人や助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」と答えた人の割合が最も高く21.3%、「地域での福祉活動の重要性を周知する」14.6%、「地域でボランティア等の活動の拠点となる場所を整える」16.6%、と続いている。

6 20代から40代の市民が地域の福祉活動に参加しやすくするために必要なこと(2つまで)

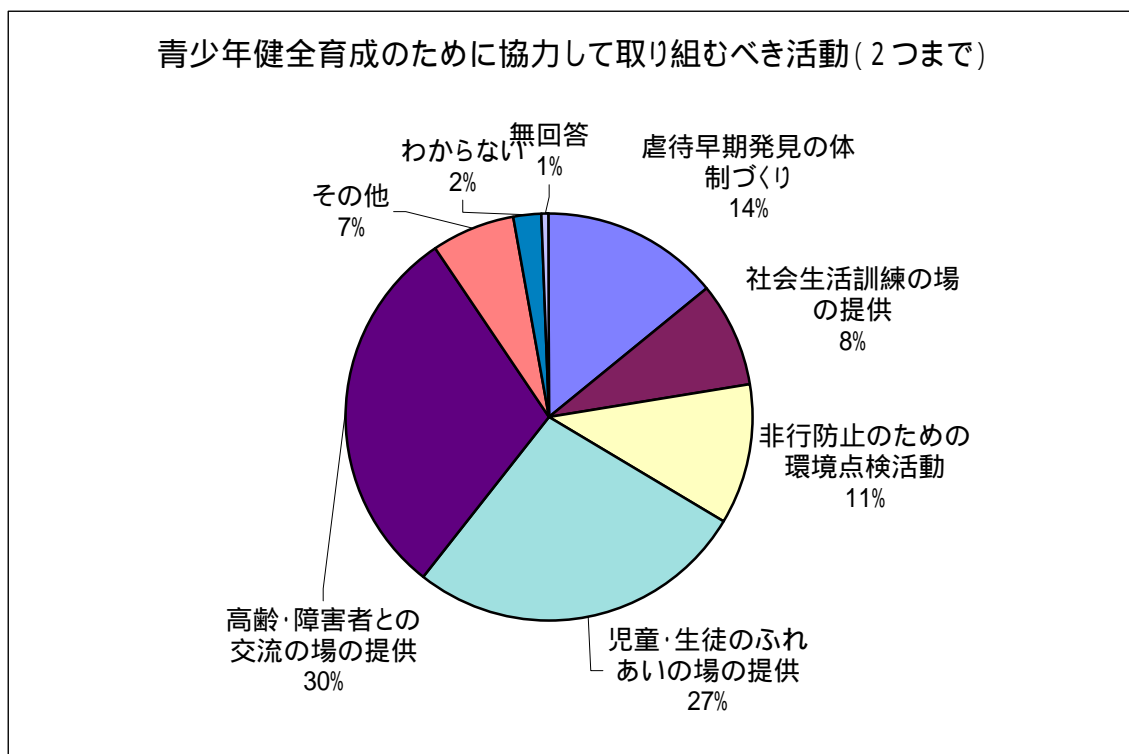
選択項目	人数	構成比
地域での福祉活動の重要性を周知する	27	15.4%
困っている人や助け合いの場や組織についての情報を得やすくする	38	21.7%
地域でのボランティア等の活動の拠点となる場所を整える	22	12.6%
地域での福祉活動に対して行政や企業が資金的な援助を行なう	12	6.9%
リーダーや福祉活動に携わる人を養成する	19	10.9%
地域での福祉活動等を支援するコーディネーターを育成する	10	5.7%
福祉活動の相談・指導を担当する専門職員を育成する	11	6.3%
介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行なう	17	9.7%
その他	7	4.0%
わからない	3	1.7%
無回答	9	5.1%
計	175	100.0%



「困っている人や助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」と答えた人の割合が最も高く21.7%、「地域での福祉活動の重要性を周知する」15.4%、「地域でボランティア等の活動の拠点となる場所を整える」12.6%、と続いている。

7 青少年健全育成のために協力して取り組むべき活動( は2つまで)

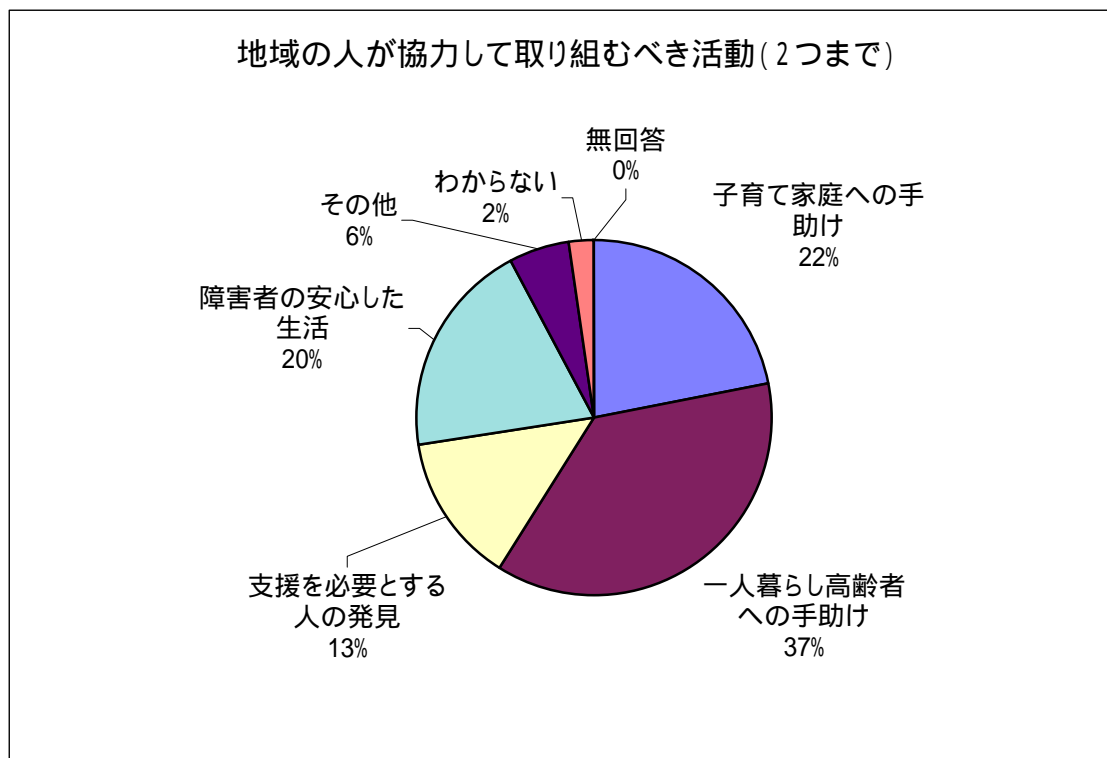
選択項目	人数	構成比
虐待されている児童・生徒等を早期に発見する体制づくり	25	14.0%
障害のある児童・生徒に対する将来の自立に向けた社会生活訓練の場の提供	15	8.4%
児童・生徒の非行防止のため、わいせつな自販機の撤去などの環境点検活動	20	11.2%
地域の小学校・中学校などの連携による児童・生徒のふれあいの場の提供	48	27.0%
児童・生徒が地域の高齢者・障害者等との交流の場の提供	53	29.8%
その他	12	6.7%
わからない	4	2.2%
無回答	1	0.6%
計	178	100.0%



「児童・生徒が地域の高齢者・障害者等との交流の場の提供」と答えた人の割合が最も高く29.8%、「地域の小学校・中学校などの連携による児童・生徒のふれあいの場の提供」27.0%、「虐待されている児童・生徒等を早期に発見する体制づくり」14.0%、と続いている。

8 地域の人が協力して取り組むべき活動( は2つまで)

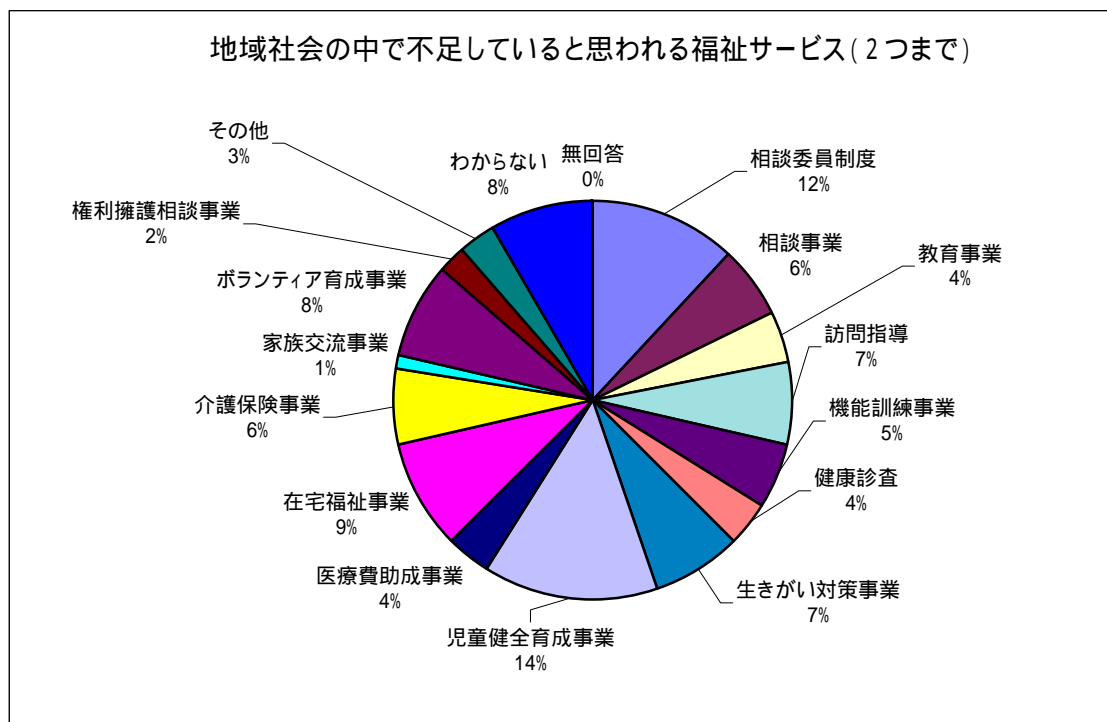
選択項目	人数	構成比
子育てで悩んでいる家庭への手助け	39	21.9%
ひとり暮らし高齢者への手助け	66	37.1%
虐待, 孤立, ひきこもりなど支援を必要とする人の発見すること	24	13.5%
障害者が地域の中で安心して暮らせるようにすること	35	19.7%
その他	10	5.6%
わからない	4	2.2%
無回答	0	0.0%
計	178	100.0%



「ひとり暮らし高齢者への手助け」と答えた人の割合が最も高く37.1%、「子育てで悩んでいる家庭への手助け」21.9%、「障害者が地域の中で安心して暮らせるようにすること」19.7%と続いている。

9 地域社会の中で不足していると思われる福祉サービス( は2つまで)

選択項目	人数	構成比
相談委員制度	20	11.9%
相談事業	10	6.0%
教育事業	7	4.2%
訪問指導	11	6.5%
機能訓練事業	9	5.4%
健康診査	6	3.6%
生きがい対策事業	12	7.1%
児童健全育成事業	24	14.3%
医療費助成事業	6	3.6%
在宅福祉事業	15	8.9%
介護保険事業	10	6.0%
家族交流事業	2	1.2%
ボランティア育成事業	13	7.7%
権利擁護相談事業	4	2.4%
その他	5	3.0%
わからない	14	8.3%
無回答	0	0.0%



「児童健全育成事業」と答えた人の割合が最も高く14.3%、「相談委員制度」11.9%と続いている。